



谷山サザンホールにて第55回文化祭が開催されました。ホールには生徒たちの歌声が響きわたり、日頃の努力が結実した素晴らしいパフォーマンスがみられました。きっとこの成果を得るまでには多くの葛藤もあったことでしょう。心と心が繋がり、支え合うことによって創り上げられた文化祭。生徒たちの輝く姿は感動を与えてくれました。

第55回 2014.10.10 文化祭



演劇部



合唱部



吹奏楽部

文化祭 report1 私たちの苦勞

- 「前日まで意見がまとまらず不安だったけど、リハーサルの時、『頑張ろう』という言葉が伝わってきた。本番はひとつになることが出来た。」
 - 「文化祭の準備はすべてが大変だった。苦しかった分、達成感は大きかった。」
- 生徒たちの感想です。ぶつかり合いながらも一つの事をみんなで創り上げていく事ができ、仲間との絆がさらに深まったことでしょう。



思いをひとつに響き合い つなげようさらなる躍進へ

2年合唱



美術部



理科作品



この文化祭において、それぞれの役割を果たそうとする中で、新たな自分と出会ったり、新たな絆を仲間と作ったりすることができたと思います。そのことがスローガンにある「さらなる躍進」ではないでしょうか。私も「さらなる躍進」をすることができた一人です。



文化祭実行委員長 坂本 佳穂 第五十五回

文化祭 report2 「タイムカプセル」秘話

エンディングで歌われた「タイムカプセル」。この曲は来年度、鹿児島県で開催される国民文化祭のイメージソングです。県広報の方の依頼を受けて県内初の合唱が行われました。597名揃っての合唱は文化祭が初披露だったので先生方は心配していた様子でしたが、生徒たちは自然と肩を組み、見事に歌いきりました。県広報の方もたいへん感動されていたそうです。



本番、無事に到着できたときは、何とも言えない達成感を味わうことができました。長崎の風景は今でも忘れることはできません。私の大切な思い出です。

計画を立てる段階で、何度も何度も書き直し、分刻みの計画をやつとこのことで作成しました。

観光地を生徒だけで巡ることは、想像以上にハードルの高いことでした。

中学時代、部活に明け暮れていた私にとって、数少ない部活以外の思い出と言え、修学旅行です。



二年五組担任 久徳 晋也

先生の中学時代！ 修学旅行と私

熱い思いが感動にかわる瞬間

第64回 2014.9.7 運動会

清々しい青空の下、第64回運動会が開催されました。仲間と共に笑い、励まし合い、時に悔しがりながら、それぞれのもつ力を出しきり、全力で取り組む姿は見る者の感動を呼びました。結果は緑組の優勝、応援部門は白組の4連覇となりました。



心をひとつに駆け続け 煌めく五色の風となれ



「運動会当日、五色の風を巻き起こしましょう。」
 と言っ、全体練習をスタートさせた。行進が上手くいかないなど、思ったように練習を進められず悔しい思いをすることが多くあった。
 けれども、練習のかいあって、当日は全員が本気の姿を示し、煌めく五色の風を巻き起こせた。最高の仲間と最高の運動会をつくり上げられた。ありがとう。

体育委員長 谷山 浩輔



運動会 report 受け継がれるもの

毎年、運動会の中心となって応援を盛り上げてくれる応援団。応援団の舞の型は先輩から代々受け継がれています。

- 3・3・7拍子パート1
- 3・3・7拍子パート2
- 3・3・7拍子パート3
- 1・3・1・3・7拍子
- 花笠 (ハナカツサー)
- かつせ (カッセー)
- スイム

この7種類の基本の型を応援団になった生徒たちは練習し、応援席での応援の時に披露します。また、扇子と手袋も代々受け継がれています。扇子や舞の型とともに、応援団の熱い思いも来年へと受け継がれていくことでしょう。



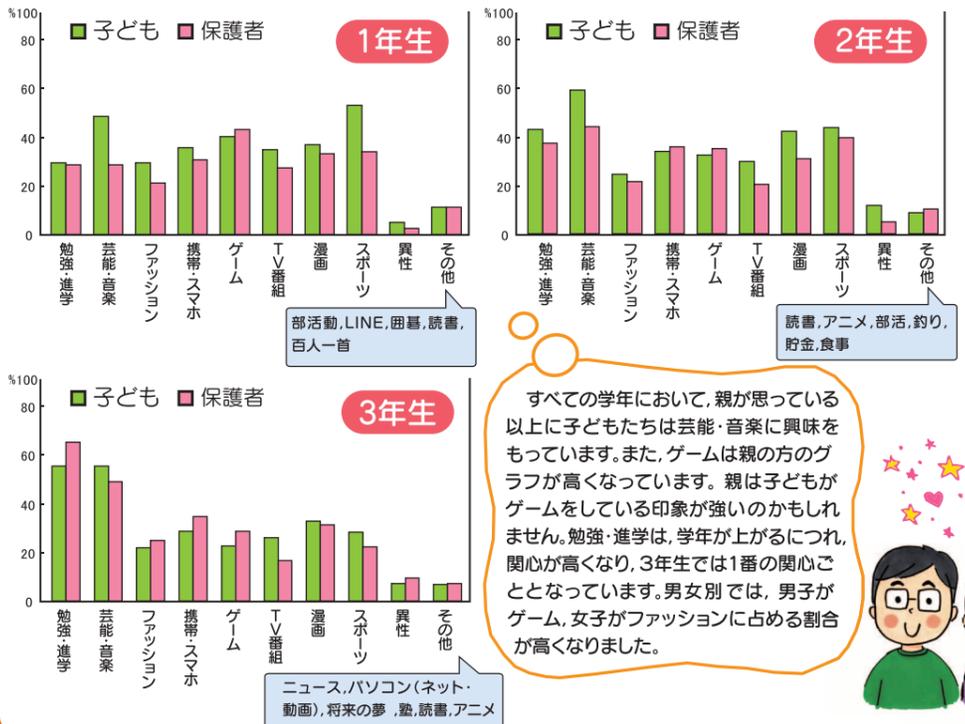
チームワークの素晴らしさ 保健体育科 大井 幸乃
 一糸乱れぬ息の揃った応援。伝統ある附属中の六十四回目となる運動会を終えてほっと胸をなで下ろしています。本番で見せられる姿は、ほんの一瞬。あの感動のために、生徒が一体となり、懸命に練習へ取り組む姿。団の勝利のために五色の応援団を中心に本気で取り組み、時には互いを思いやり励まし合う姿。それを陰で支える先生方。附属中の運動会を初めて経験する私にとって、チームワークの素晴らしさを改めて実感した最高の運動会となりました。

特集1 親と子の心をつなぐアンケート

今年度の広報部のテーマは「繋ぐ」～互いにわかり合うために～です。
今回は親と子のギャップを知るためにアンケートを実施しました。

実施日 平成26年10月9日 回答数(率)
生徒 584人(98%) 保護者 552人(92%)

Q1 (生徒へ) 今、興味・関心のあることは何ですか? (複数回答)
(親へ) お子さんが、今、興味・関心のあることは何だと思えますか? (複数回答)

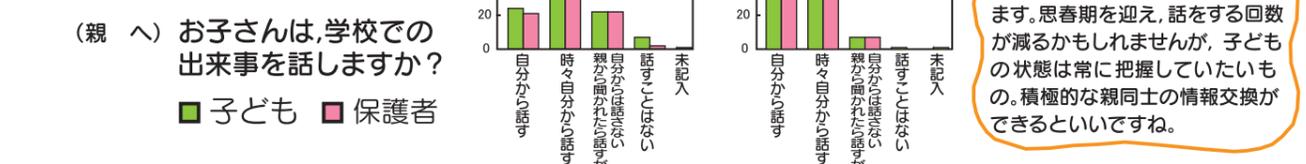


聞わ か か せ て ほ し い か ら

親と子のギャップを知るためにアンケートを実施しました。

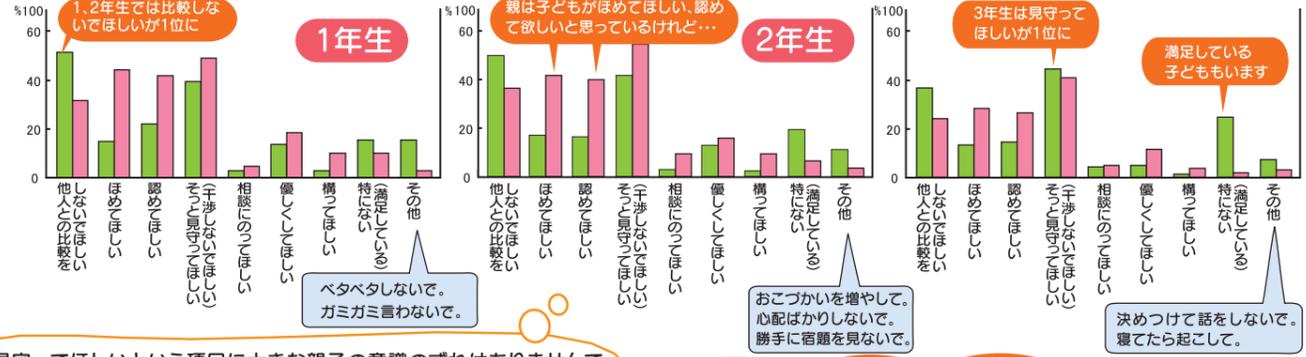
すべての学年において、親が思っている以上に子どもたちは芸術・音楽に興味を持っています。また、ゲームは親の方のグラフが高くなっています。親は子どもがゲームをしている印象が強いかもしれませんが、勉強・進学は、学年が上がるにつれ、関心が高くなり、3年生では1番の関心事となっています。男女別では、男子がゲーム、女子がファッションに占める割合が高くなりました。

Q2 (生徒へ) 学校での出来事を家の方に話しますか?
(親へ) お子さんは、学校での出来事を話しますか?



圧倒的に女子の方が話をしてい
ます。思春期を迎え、話をする回数
が減るかもしれませんが、子ども
の状態は常に把握してたいもの
。積極的な親同士の情報交換が
できるといいですね。

Q3 (生徒へ) 親にしてほしいこと、望んでいることは何ですか? (複数回答)
(親へ) お子さんが親にしてほしいこと、望んでいることは何だと思えますか? (複数回答)



見守ってほしいという項目に大きな親子の意識のずれはありませんでしたが、褒める、認める、他人との比較においてずれがみられました。親が褒めよう、認めようと思っているのに対し、子どもはそれ以上に他人との比較をしないでほしいと望んでいるようです。親は知らず知らずのうちに友達や兄弟と比較をしているのかもしれませんが。

「他人と比較しないで! 比べるなら半年・1年前の私と比べてよ!」
そんな言葉にドキッとした経験はありませんか?
つつい口を出してしまおうになるのをグッとこらえて、「そうね、1年後の
あなたを楽しみにしているよ!」そんな見守りの言葉が言えたら素敵ですね。

特集2 世界をつなぐ

世界のリーダーシップを育成するために 附属中の挑戦!

今年度より、附属中と台北市立大直高級中学との交流が始まりました。他国の方々と交流を通して、子どもたちはどのような経験をし、何を学んだのでしょうか。台北市立大直高級中学との交流の様子をお届けします。

台北市立大直高級中学とは
中高一貫校で、約2千人の中高生が学ぶ台湾でも屈指の名門校です。大学のカリキュラムを取り入れた新しい教育を目指し、台湾の教育の発展を促す指導的存在の学校とされています。

国立台北教育大学の実習生との交流
H.26.6.18~6.30
国立台北教育大学から10名の大学生が訪れ、2週間にわたり教育実習を行いました。英語での授業でしたが、子どもたちは臆することなく発言し、積極的に交流を図っていました。実習生の皆さんは、教師としての姿勢を学ぶ良い機会となったと満足していたようです。

台北市立大直高級中学の先生方をお迎えて
H.26.7.9
台北市立大直高級中学より16名の先生方が訪れました。英語と中国語を交えた歓迎式の後、本校の授業に興味深く見学され、1年生のアジア・フレンドシップ・プロジェクトの中間発表では満面の笑みで拍手してくださいました。附中生は素直で自主性があり、質が高い」とおっしゃっていました。

アジア・フレンドシップ・プロジェクト
1年生が総合的な学習の時間に、「台湾の中学生との交流を図るためには何をすべきか」を考え、アジア・フレンドシップ・プロジェクトと題して取り組みました。「風習・習慣」「伝統・芸能」「学校生活」「観光」「食」の5つの班に分かれて鹿児島文化、台湾の文化を調べ共通点・相違点をまとめました。さらに、日本語と中国語を組み合わせた「こんニーハオ」や日本の獅子舞と台湾の獅子舞と一緒に踊ったり、夏休み期間に台湾の中学生と過ごすアジア・フレンドシップ・スクールの企画をしたりするなど、互いの文化を尊重しながら、仲良くなるためのさまざまな提案をしていきました。文化に関して学び、そこからさらに「何ができるか」という問題意識をもち具体的な提案を打ち出していき姿に附中生の力強さを見せつけられました。今後は、インターネットを通じて、双方向での遠隔教育が進められていきます。

共に輝く 一年一組 益満諒
一年生の劇はアジア・フレンドシップ・プロジェクトで調べた国の文化の違いを皆さんに発表することでした。伝わるようにするにはどのように表現すれば良いか、セリフの言いまわし、体での表現などみんなで話し合いました。僕は議長に役になり、セリフも多く緊張しました。舞台裏ではみんな励まし合い互いに声をかけ合っていました。みんなスポッライトをあびてとても輝いて見えました。

台北との学術交流協定
—東アジアへ向けた附属中の挑戦—
校長 樋口 晶彦

台北市立大直高級中学との学術交流の目的は、英語教育の向上というよりも東アジアに目を向けることで自国の歴史、伝統文化を再考することを考えていました。つまり、外から日本という国を多面的に捉えて大局的の世界観を培っていくことを考えていたわけですね。「ナショナルであればインターナショナルになれない」という強い思いもありました。世界がグローバル化していくことは世界が画一化していくことに繋がります。国や文化の異なる人々との交流がグローバルスタンダードの下の下に徐々にその中核となる個性を失くしていくことになりません。そうした中、附属中学校では生徒たちに大局的世界観を育てる必要があり、そのためにはまず近隣の東アジアに目を向けることが肝要だと考えてきました。近隣の他者を知り、他者を認めて理解しようとする姿勢が求められてそれが本学術交流の究極の目的である人権尊重、民主主義の確立、平和、法の遵守へと繋がっています。この学術交流を通して生徒諸君が何かを感じ柔軟で斬新な大局的世界観を培いつつ明日の日本を担う人材として幅広く活躍してくれる事を切に願っています。

保護者も先生もキラリ！輝くPTA

PTA NEWS

7年ぶり優勝

九附連バレーボール大会 H26.7.20(日)



今年は沖縄での開催となりました。持ち前の粘り強さと団結力で念願の優勝を手に入れました。選手の皆さんおめでとうございます。

九附連親睦球技大会に参加して
予選、準決勝を順調に勝ち上がり迎えた決勝戦の相手は鹿児島大学教育学部附属小学校、思い出しでも震えるくらいの接戦で緊張の中笑顔で声を掛け合いボールを繋ぐことに集中しました。あと一点で優勝という場面、ボールが相手コートに落ちた瞬間は今でも忘れられません。
支えて下さった皆様ありがとうございました。感謝と感動の琉球大会「優勝」をここに御報告します。

全チーム堂々決勝リーグ進出

鹿附連バレーボール大会 H26.6.21(土)

鹿児島大学にて開催された鹿附連バレーボール大会。外はあいにくの大雨でしたが、体育館の中は歓声が響きわたり、熱気が満ちていました。残念ながら優勝は逃しましたが、附属中は全チーム決勝リーグ進出という快挙をなしました。



中3チーム準優勝



チーム一丸となって

心強いサポーター陣 保健部



当日は、たくさんの方が応援に駆けつけ、手作りわちわちを手には、一喜一憂しながら大声援を送っていました。また、この大会のために用意した手作りの腕章をつけ、飲み物の準備や貴重品管理等を行う保健部役員の心強いサポートのおかげで、より充実した大会となりました。



研修部 PTA研修視察旅行

H26.10.2(木)

例年を上回る131名の会員が参加し、鶴丸高校、樟南高校、セイカ食品物流センターを見学しました。それぞれの学校の特色を肌で感じ、流通について学ぶことができました。



-25℃の低温倉庫を体験

広報部 佳作賞受賞

皆様のおかげで、平成25年度県広報誌コンクールにおいて、佳作賞をいただくことができました。心より感謝申し上げます。今後も家庭と学校、子どもたちをつなぐ架け橋となる広報誌作りを目指します。

研修部 PTAセミナー H26.7.11(金)

「カウンセラーから見た子どもたちの現在(いま)」と題して、本校のスクールカウンセラー今村葉子先生のセミナーがありました。保護者の疑問に丁寧に答えくださり、子育てを振り返る良い時間がありました。



子どもたちもキラリ！輝く球技大会

H26.7.11(金)

学年別
総合優勝

1年…3組
2年…2組
3年…3組



3日目 清水寺 USJほか



2年生 修学旅行

11月4日～7日

1日目 奈良公園 薬師寺



4日目 大阪城 海遊館ほか



修学旅行を振り返って
実行委員長 堀之内里玖
修学旅行では僕たち実行委員が掲げたテーマである「挑む」を達成することができました。一人一人が自分の力を精一杯発揮し、主体的に活動することができました。しかし、まだ進途中です。これから修学旅行で学んだことを生かして、高まっていきたいです。



2日目 京都自主研修



1年生 宿泊学習

11月5日～7日



山頂にて

キャンプファイヤーの準備

- 1日目 農業、林業 自然体験
- 2日目 横岳登山
- 3日目 ものづくり

宿泊学習を振り返って
実行委員長 山下晋次郎
僕は、実行委員長として解散式で前に立った時、胸が一杯になりました。この三日間には、多くの苦難があり、弱気になりそうなおもっていました。そんな時、僕を支えてくれたのは、仲間間の笑顔でした。この三日間で得た経験を大切に仲間と共に頑張りたいです。

3年生 職場体験

11月6日～7日



ねこのつめきり (たけした動物病院)

えさ作り (水族館)

ベッドメイキング (城山観光ホテル)

介護体験 (愛と結の街)

Tシャツに着替えて (よしどめデンタルキッズ)

生徒たちの感想より...

- これからも、人と接する時は、「笑顔」を忘れずにしていきたいです
- 相手の立場になって考え行動する「相手を思う気持ち」を特に学びました。
- 私も将来、自分の仕事に誇りを持って大人になりたいです。
様々な業種50ヶ所の事業所に御協力いただきました。